



Royal Philatelic Society London

ロイヤル・フィラテリック・ソサエティ・ロンドンのミッション・ステートメント

1869年に The Philatelic Society, London として発足した The Royal Philatelic Society London は世界で最も古い郵趣団体です。我々は1906年に時の国王エドワード7世閣下より“ロイヤル(Royal)”を冠する名誉を与えられ、その10年後には閣下のご息子のヨーク公爵を当会の会長に迎えることができました。公爵が国王ジョージ5世になられた1910年に当会のパトロンとなられ、1924年には当会の発行物や備品に王室の紋章を用いる許可を下されています。

当会の主な理念は以下のようなものです：

1. 郵趣の科学的かつ文化的な発展を啓蒙し、推奨することに貢献すること、
2. 当会の会員にミーティングや会話、展示、講演、通信などを通して当会の目的を伝え、郵趣的な調査を援助、実行し、その結果を機関紙、文献、通信などの方法を用いて印刷、出版すること、
3. 英国内で国際的およびその他の郵趣展を単独もしくは共同で開催するために、様々な啓蒙や寄付などの貢献をし、加えて郵趣展の開催や郵趣関連の刊行物などへの貢献者に対して賞やメダル、賞詞などを贈ること、
4. 当会の理念に適う図書や切手・原画・プルーフ・エッセーやその他文書を整備し管理すること。

我々は専門的な知識を誇りにしていますが、引き続きその向上に向けて努力を続けます。我々は豊かな方々から一般の方々まで、あらゆる郵趣家の皆様を歓迎します。我々の会員数は現在 2000 名を超えておりますが、その半数以上はイギリス国外に住んでおり、当会は引き続き成長し続けます。